



江戸のヒットメーカー

つ た や じ ゅ う さ ぶ ろ う
鳶屋重三郎

と

え ど
江戸文化

オイラ、つたいやん！
みんな、鳶屋重三郎って
知ってる？
台東区出身で、江戸文化の
たてやくしや
立役者なんだ！

もくじ

つたじゅう 鳶重って、どんな人？ ……………	2
鳶重ゆかりの人物……………	6
うきよえ たの かた 浮世絵の楽しみ方……………	8
鳶重が生きた江戸時代……………	12
鳶重ゆかりの地をめぐる……………	14
でんとうこうげい 江戸の伝統工芸……………	18



葛重って、どんな人？



店をはじめたのは、
22才のときなんだ

台東区が生んだヒットメーカー

葛重三郎は、江戸時代の中ごろに活躍した出版人、つまり「本や浮世絵をプロデュースする人」です。重三郎は、まわりの人たちから「葛重」とよばれていました。そんな葛重が生まれたのは、当時、江戸の吉原とよばれていた地域です。吉原は現在の台東区千束にあります。

葛重は、喜多川歌麿、東洲斎写楽などの絵師（画家）、山東京伝などの作家を育てあげ、作品を次々とヒットさせました。

歌麿や写楽は、当時、江戸では知らない人がいないくらいの有名な人になりました。葛重は、そんな人気者をかげで支える「縁の下の力持ち」で、ヒットメーカーでした。



葛重三郎の肖像
アフロ

当時、東京は「江戸」とよばれていたんだ



葛重の一生

- 1750年（0才）
吉原で生まれる
- 1772年（22才）
本のレンタルの仕事を始める
- 1774年（24才）
平賀源内の協力で、吉原のガイドブックを編集する「デビュー作」を出版する

地元のガイドブックが大ヒット！

葛重は親元をはなれて養子として育ちました。22才のとき、育った家で本のレンタルの仕事を始めます。そして24才のときに、生まれ育った吉原のガイドブック（吉原細見）を編集し、自分で出版するまでになります。短い間に、本のレンタルから編集、出版まで、本に関わるいろいろな仕事をするようになっていったのです。

原稿やさし絵などをまとめて、1冊の本にすることを「編集」というんだ



葛重の店の名前は「耕書堂」です。この名前は、日本橋に移転したあとでも変わっていませんでした。
（国会図書館蔵）

葛重の印はどれ？

絵や本には、出版した店の印「版元印」が押されました。葛重の版元印はどれでしょう？



（ヒント）名前の一部が描かれている

本ができるまで

- 1 **版元**
いまでいう出版社。本や絵をつくる資金を準備します。
- 2 **作者・絵師**
版元のアドバイスなどを聞きながら作品を完成させます。絵師は絵を描きます。
- 3 **本屋仲間**
作品に禁止されている表現がないかチェック（検閲）をします。
- 4 **彫師・摺師**
下絵をもとに彫刻刀を使って版木に彫ります。（8ページでくわしく紹介します）
- 5 **版元**
印刷、製本（紙をとじること）をして完成させます。

江戸の中心で頭角をあらわす

そのころの江戸の町には、本や絵を自由に発表できる雰囲気がありました。そのおかげもあって、葛重は次々に作品をヒットさせます。「耕書堂」の調子がとても好調だったということです。そして、日本橋という一等地に新しい店を出すまでになります。

- 1781年（31才）ころ
狂歌ブームがはじまり、勢いに乗る
- 1783年（33才）
吉原での成功をもとに、日本橋に新店舗を出店
- 1787年（37才）
「寛政の改革」で、幕府の政策が大きく変わる
- 1789年（39才）
仕事なかまの恋川春町が罰を受け、ダメージを受ける
- 1791年（41才）
親友の山東京伝とともに処罰を受ける
- 喜多川歌麿の「美人画」を販売
- 1794年（44才）
東洲斎写楽の「役者絵」が江戸中の話題となる
- 1797年（47才）
亡くなる

幕府の政策転換で大ピンチ！

このころ、江戸幕府の老中（政治を取り仕切る役職）は田沼意次でした。意次は商売や学問を大切にしたいため、経済活動が活発になり、江戸に文化が開きます。そんななか、売れっ子作家や絵師にめぐまれ、蔦重の店（耕書堂）の経営はとも順調でした。しかし、火山の噴火や飢饉の発生などにより、世の中は不安定となり、人々は不満をつのらせていきました。

1787年、意次にかわって白河（福島県の名）出身の松平定信が老中になると、混乱した世の中を安定させるための「寛政の改革」がはじまり、出版統制令が出されました。



みんな、さんざんな目に合ったんだ

売れっ子作家をおそった悲劇

出版統制令は、幕府にとって都合の悪い出版を禁止する命令でした。これまで、書きたいものを書いて作家たちが、彼らの本を出版していた蔦重は、大打撃を受けました。たとえば山東京伝は、書いた本の中で町奉行所に取り調べを受け、手首にくさりをはめられるという厳しい罰を受けました。本を出版した蔦重も、多額の罰金を払っています。また恋川春町は、本を書くことを止められ、悲しみのままに間もなく亡くなってしまいます。蔦重たちにとって、自分たちの考えを発信しづらかった時代は、生きにくい時期だったといえます。

政策はこんなに変わった！

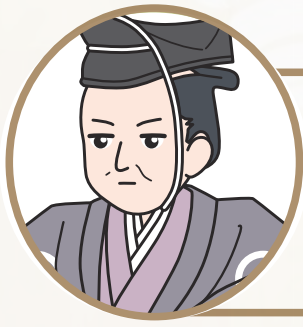
田沼意次のとき

- ・幕府の収入を増やした
- ・一部の商人をひいきにした
- ・学問や文化を大切にしたい
- ・運河や農地を整備した



松平定信のとき

- ・節約を推進した
- ・武士のルールを厳しくした
- ・一部の学問以外を禁じた
- ・出版できるものを制限した



山東京伝



くさりをはめられた……

本を書くのを止められた……



恋川春町

このころの将軍はだれ？

- 1 徳川家康 2 徳川綱吉 3 徳川家斉

新たな才能に出会い、起死回生

そんなピンチの時期に、蔦重は「本がダメなら浮世絵でいこう」と作戦を切りかえます。蔦重は、喜多川歌麿に女性を描いた「美人画」を描かせると、そのねらいが当たって美人画は大ヒットしました。続いて、東洲斎写楽には歌舞伎役者の絵を描いた「役者絵」を描かせて、江戸中で話題になりました。

このようにして蔦重は見事にピンチを切りぬけますが、その成功からそれほど経たないうちに、47才の若さで亡くなってしまいました。

歌麿も写楽も、上半身を大きく描いた大首絵が得意だったんだね



江戸時代に大ブームになった狂歌について知ろう！

「狂歌」は、五・七・五・七・七の和歌の形式を使いながら、庶民のふだんのことばで、身のまわりのできごとをうたいます。シャレや皮肉がきいているのが特徴です。蔦重もなかまといっしょに狂歌をつくったり、狂歌の本を出版して大ヒットさせました。

狂歌には、むかしの作品をパロディにしたものもあるんだよ



「汐干のつと」という狂歌絵本。喜多川歌麿がさし絵を描いています。アフロ

写楽は正体不明の人物といわれているんだ



東洲斎写楽

歌麿の絵、写楽の絵はどっち？

1



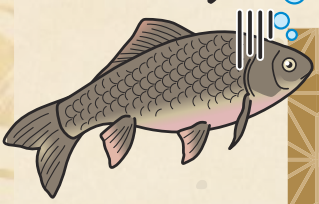
ColBase

2



ColBase

田沼の時代が恋しいなあ……



白河の清きに魚も棲みかたて
もとの濁りの田沼恋しき

松平定信は、混乱した世の中を安んずるために、寛政の改革をおこないました。ところが、田沼意次時代のゆとりのある暮らしを知ってしまった豊かな江戸の人々にとって、定信の厳しさは、とても息苦しいものでした。この気持ちを魚におきかえてうたったのが、この狂歌です。魚も、あまりに透명한水の中ではすみにくいのです。

葛重ゆかりの人物

葛重のまわりに集まった才能

葛重は、狂歌のグループに入って、自分でも狂歌をつくっていました。葛重は版元として成功してからも、そのつながりを大切に、才能のある作家や絵師を支援して、江戸の文化を支え続けました。葛重の仕事なかまには、喜多川歌麿、葛飾北斎など、海外でも有名になった人物もいます。

作家

十返舎一九

(1765 ~ 1831年)

『東海道中膝栗毛』を書きました。
『弥次さん喜多さん』の生みの親。



作家

曲亭馬琴

(1767 ~ 1848年)

八犬士が活躍するヒーローもの『南総里見八犬伝』を書きました。



主力作家

作家

平賀源内

(1728 ~ 1779年)

「エレキテル」をつくったアイデマン。日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ。



狂歌師

大田南畝

(1749 ~ 1823年)

武家生まれの狂歌師。狂歌ブームの中心として活躍しました。



仕事なかま

作家

恋川春町

(1744 ~ 1789年)

武家生まれの作家。「黄表紙」という分野で、人気作家になりました。



葛屋重三郎 (葛重)

(1750 ~ 1797年)



さし絵を依頼

プロデュース

親友

作家

山東京伝

(1761 ~ 1816年)

葛重とは仲がよく、寛政の改革をいっしょに乗りこえました。



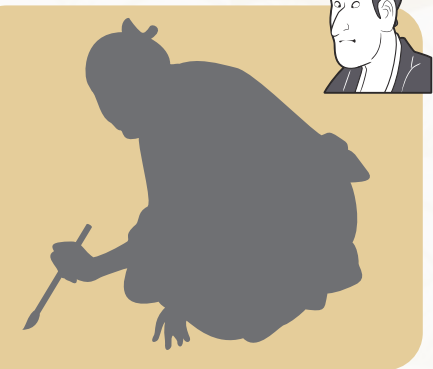
文楽の面影

デビュー作に協力

狂歌なかま

遊びなかま

プロデュース



絵師

酒井抱一

(1761 ~ 1828年)

江戸を代表する人気の絵師。流行の仕掛け人でもありました。



絵師

東洲斎写楽

(生没年不明)

肖像画が残されていないなぞの絵師です。歌舞伎役者を描く達人でした。

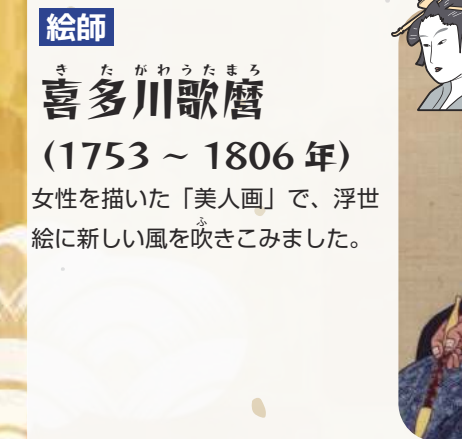


絵師

喜多川歌麿

(1753 ~ 1806年)

女性を描いた「美人画」で、浮世絵に新しい風を吹きこみました。



絵師

葛飾北斎

(1760 ~ 1849年)

だれもが知っている天才絵師。富士山を描いた「富嶽三十六景」が有名。



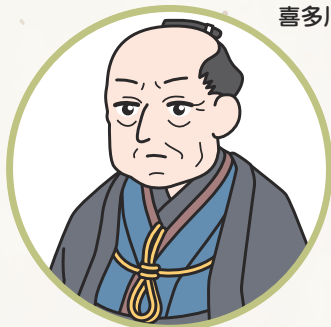
美人画



「相模歌麿考画」
「婦女人相十品・ポップンを吹く娘」



「浅草年の市」



喜多川歌麿

どちらも萬重がプロデュースしたんだ。2人とも大人気だったんだ



東洲斎写楽

役者絵



「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」



「谷村虎蔵の鷲塚八平次」

東洲斎写楽は、萬重の版元から役者絵を出版してデビューをしたことがわかってはいますが、生まれ年や亡くなった年だけでなく、だれに絵を習ったかも、はっきりとはわかっていません。そして、わずか10か月で絵師をやめ、姿を消してしまっただけです。当時は写真がなかったので、歌舞伎ファンは自分の「推し」の役者絵を買い求めました。

歌麿と写楽、どっちが好き？

浮世絵ができるまで



絵師

はじめに版元と絵師が相談して、どのような絵にするか決めます。その後、絵師が墨で版下絵（下書き）を描きます。



彫師

版下絵を裏返しにして板（版木）にはり、板を彫ります。これを版下といいます。色の数だけ、版下をつくります。



摺師

紙に色をぬった版下を重ねて摺っていきます。それぞれの色でくりかえしていくと、色の数が増えていき、完成です。



主に庶民の生活の様子が描かれた絵が浮世絵。版画の手法でできあがるよ

武者絵



歌川国芳「本朝水滸伝剛勇八百人一個・宮本無三四」
歴史上の出来事や物語のワンシーンを描いた絵です。よろいかぶとを身につけた、いさましい武士の絵が人気でした。

戯画



歌川国芳「金魚づくし・玉や玉や」
人々の生活や事件などを、おもしろおかしく表現した絵です。動物を人に見立てて（擬人化して）描くこともありました。

浮世絵のジャンル

美人画



喜多川歌麿「団扇を持つ高島おひさ」
絵師の身近にいる、美しい大人の女性を描いた絵です。全身を描いたものや、上半身だけの「大首絵」があります。

名所絵



歌川広重「名所江戸百景・吾妻橋金龍山遠望」
全国の名所を描いた絵で、記念品のようにも使われました。この絵には、吾妻橋からのぞむ浅草寺が描かれています。

役者絵



東洲斎写楽「市川殿蔵の竹村定之進」
歌舞伎の人気役者や名場面を描いた絵です。とくに、役者の上半身だけを描いたものを「大首絵」といいます。

浮世絵の楽しみ方

そもそも、浮世絵ってなに？

浮世絵は当時の娯楽だった

浮世絵は、「コミックと同じくらい値段で買うことができる、庶民の楽しみでした。そのため、版元や絵師は、買い手に楽しんでもらう工夫をこらしていました。」

たとえば、浮世絵には「見立絵」というジャンルがあります。これは、昔の物語を江戸時代におきかえてあらわしたもので、理解するには知識が必要で、「なぞなぞ」のような感覚で楽しめる「判じ絵」もあります。絵を読みとくと、人物の名前や地名になるといふものでした。

また、浮世絵を見て「自分も絵を描いてみたい」と考えた人もいたかもしれませんが、葛飾北斎は、一筆書きの教科書を出しています。



ゴッホも大好き！海を渡った浮世絵

江戸の庶民が気軽に手に入れることができた浮世絵は、日本からヨーロッパに輸出する陶器を包んだ梱包材として海を渡り、そこで画家たちの目にとまったという説があります。浮世絵の大胆な構図と色づかいは、当時のヨーロッパの絵画にはなかったものでした。それを目にした画家たちは、衝撃を受けます。たとえば、モネやゴッホ（「ひまわり」で有名）は大きな影響を受け、浮世絵をまねして描いたり、自分の作品に浮世絵を描いたりしています。こうして、江戸で生まれた浮世絵は、世界に羽ばたいていきました。



ゴッホ「ひまわり」アフロ



モネ「ラ・ジャポネーズ」アフロ

モデルのポーズをまねしています



菱川師宣「見返り美人図」ColBase

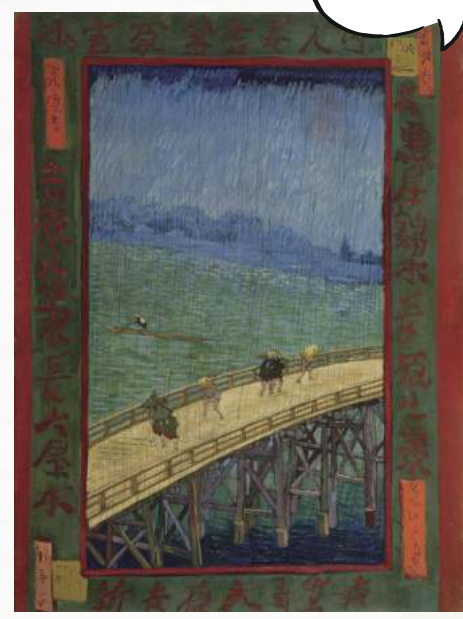
日本ブームを「ジャポニスム」とよんでいるよ



隅田川は、むかしは大川とよばれていたよ



そっくりそのまま写しています



ゴッホ「雨の大橋」アフロ



歌川広重「名所江戸百景・大はしあたけの夕立」ColBase

背景にたくさんの浮世絵を描いています



ゴッホ「タンギー爺さん」アフロ

判じ絵

矢が何本ある？
▼
よつや（四谷）



つるは半分しか描かれていない！
▼
つきじ（築地）

歌川重宣「江戸名所はんじもの」
国立国会図書館「錦絵でたのしむ江戸の名所」

見立絵

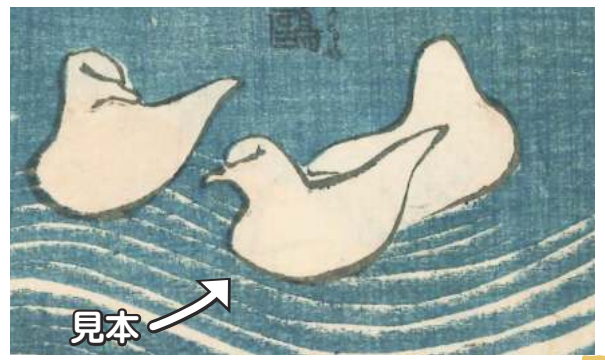


平安時代の物語「源氏物語」の一場面を、江戸時代の人物であらわしています。

奥村政信「見立源氏夕顔」アフロ

一筆書き

見本どおりに、カモメを描いてみよう



見本

葛飾北斎「伝神開手 一筆画譜」すみだ北斎美術館 / DNPpartcom

寛重が生きた江戸時代

江戸って、どんなところ？

江戸時代の江戸の町は、将軍がくらす江戸城を中心に広がっています。堀の外側には、城をかこむように武士が暮らす武家屋敷が建てられました。武家屋敷のまわりには、町人の住む町人地や寺が集まる寺社地があります。町人地には商人や職人が住み、江戸の経済を支えていました。



当時の浅草
寛重の少しあとに活躍する絵師・歌川広重が描いた浅草の様子です。金龍山（浅草寺）のまわりは、昔もいまもにぎわっています。歌川広重「六十余州名所図会 江戸 浅草市」アフロ



台東区のある場所には、お寺や神社が集まっていたんだ



江戸時代は世界の最先端をいっていた!!

大きな戦争がない **平和** な時代

徳川家康が江戸幕府を開いてから明治時代（めいし）に変わるまでの約250年間、外国との戦争も、国内での大きな反乱もほとんど起きませんでした。こんなに長い間、大きな戦争が起こらないのは、世界でもめずらしいことでした。



使わないから、刀を処分しちゃおう
武士もいたんだ



リサイクルがさかんだった **エコ** な時代

「むだ」をなくすため、使い終わったものを捨てずに、また使えるようにすることを「リサイクル」といいます。江戸時代は、生ごみを肥料として使ったり、古着をつくりなおしたりする、環境にやさしい社会だったといわれています。



古着屋が江戸中にあったんだ



大人の多くが字を読めた **教育** の時代

読み書きができる人の割合を「識字率」といいます。当時、世界には読み書きができない人がたくさんいましたが、日本には「藩校」や「寺子屋」という学校がありました。そのため、ほかの国にくらべて識字率が高かったといわれています。



本を読むには、字が読めなきゃ!



江戸の町になかった職業はどれでしょう？

- ① 刀の回収業 ② 肥料売り ③ 水売り

葛重ゆかりの地をめぐる

江戸文化を身近に感じるスポット

葛重が生まれ育ち、活躍したのが台東区。ひとめぐりしたあとは、足をのびして江戸城跡(千代田区)や耕書堂跡(中央区)を訪れてみましょう。



台東区には、なかまたちの活躍の痕跡が、あちこちに残っているんだ



① 耕書堂跡・五十間道



葛重の書店「耕書堂」は、新吉原大門の近く、五十間道にありました。現在も曲がりくねった道が残っており、当時のおもかげを感じることができます。

② 正法寺



葛重の菩提寺。墓は震災や戦災で失われてしまいました。現在は葛屋家の墓碑と、葛重母子の功績をつたえる記念碑が立っています。

③ 吉原神社



吉原にあった5つの神社が、のちに吉原神社にまとめられました。開運や縁結び、金運上昇、芸の上達にご利益があるといわれています。

④ 平賀源内の墓



エレキテルをつくり、葛重の作品にも協力した作家・平賀源内の墓。生まれ故郷の香川県にも墓があります。

⑤ 葛飾北斎の墓

葛重から本のさし絵を依頼されたのをきっかけに、のちに浮世絵界の大スターとなった北斎。墓は、誓教寺の境内に立っています。



⑥ 浅草寺

浅草寺のまわりは、江戸時代から現在にいたるまで、参拝客でにぎわっています。雷門や仲見世通りは、海外の観光客にも人気のスポットです。



⑦ 寛永寺

江戸城を守るために、僧侶の天海が建てた寺。徳川家の6人の将軍が眠っています。敷地の大部分は、上野恩賜公園になっています。



⑧ 江戸城跡(千代田区)

江戸幕府の歴代の将軍が住み、政治を行っていた江戸の中心が江戸城です。現在は城跡が整備され、観光名所のひとつになっています。



⑨ 耕書堂跡(中央区)

移転した葛重の書店「耕書堂」は、現在の日本橋にありました。かつて耕書堂があったことをつたえる説明板が立っています。





さんじやまつり 三社祭

毎年5月に行われる、浅草神社の祭り(例大祭)です。町内をみこしがねり歩き、見物客で活気づきます。



歌川広重「名所江戸百景・浅草金龍山」
ColBase

上野公園のお花見



歌川広重「名所江戸百景・上野清水堂不忍ノ池」 ColBase



上野公園がある場所は、江戸時代から桜の名所だったんだよ



上野公園では、3月中旬～4月上旬に公園の桜が見ごろをむかえます。僧侶の天海が、寛永寺の境内に桜を植えたのがはじまりです。

はつもうで 浅草寺の初詣

台東区にある寺や神社には、毎年、たくさんの方が初詣に訪れます。とくに浅草寺は有名で、毎年、数百万人が参拝に訪れます。



やぶさめ 浅草流鏑馬



江戸時代の浅草神社の正月行事を、イベントとして復活させました。武士の装束を身にまとった射手が、走る馬の上から弓矢で的を射抜きます。

すみだ がわはなびたいかい 隅田川花火大会



毎年7月に開かれる、日本最古の花火大会。8代将軍の徳川吉宗の命令による「両国川開きの花火」がはじまりです。



歌川広重「名所江戸百景・両国花火」 ColBase

浅草の ほおずき市



毎年7月9日・10日、浅草寺の境内に、ほおずきを売る店が並びます。ほおずきの実を食べると病気がなおるといふ信仰がありました。

とり いち 西の市



三代歌川豊国(歌川国貞)「十二月の内 霜月とりのまち」アフロ



毎年11月に行われる西の市は開運や商売繁昌をねがう祭りです。市には熊手を売る店が並びます。

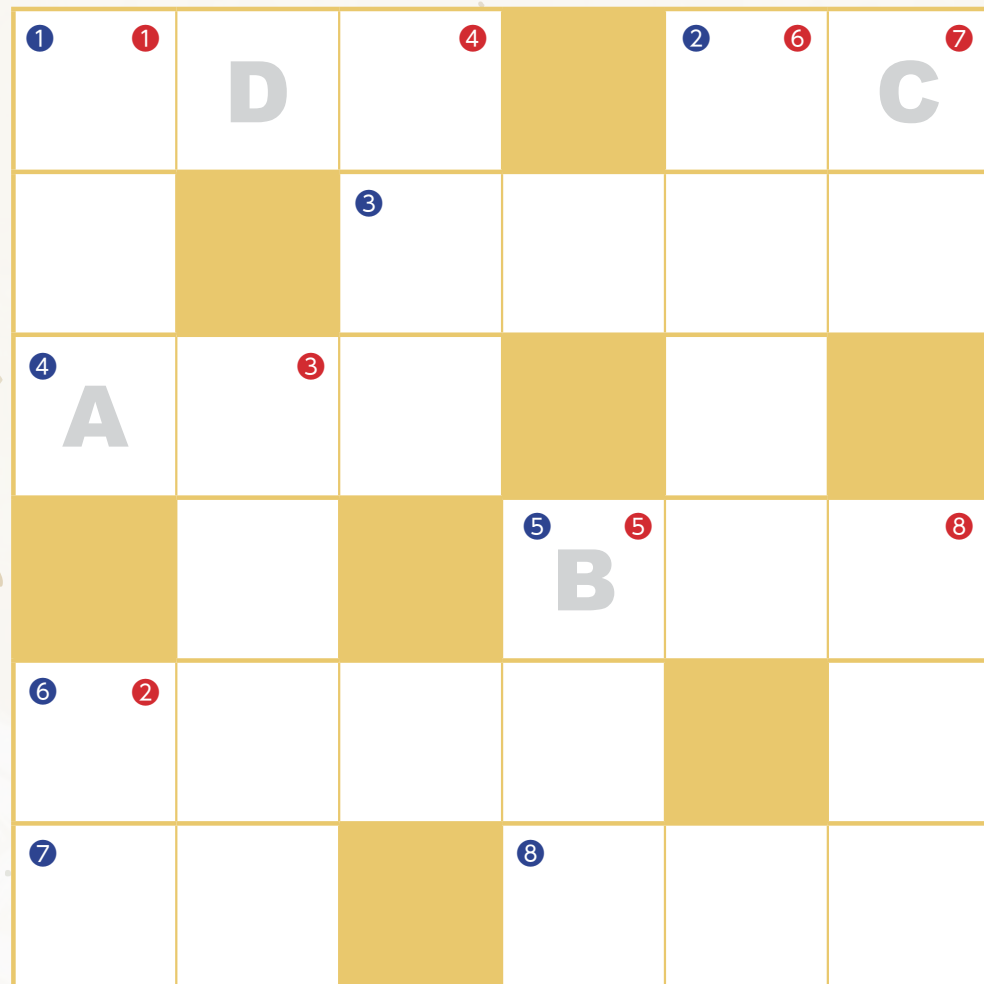
台東区的主要イベント

- 1月 大根まつり(待乳山聖天)
- 2月 節分会・福聚の舞(浅草寺)
- 3月 桜橋花まつり(隅田公園)
- 4月 白鷺の舞(浅草寺)
- 5月 下谷神社大祭(下谷神社)
- 6月 鳥越祭(鳥越神社)
- 7月 下町七夕まつり(かっぱ橋本通り)
- 8月 隅田川とうろう流し(吾妻橋付近)
- 9月 浅草サンパカーニバル(馬道通り～雷門通り)
- 10月 谷中まつり(谷中地区)
- 11月 靴のめくみ祭り市(玉姫稲荷神社)
- 12月 蔵の市(浅草寺)

いちねんじゅうぎょうじ
一年中、行事や
イベントが
開催されているよ!



クロスワードパズルでおさらいしよう!



ヨコのカギ

- 朝の太陽は朝日、夕方の太陽は ()。
- ゴッホの『雨の大橋』を見ていると、雨の () が聞こえてきそう。
- () の別名は「獅子」。星座にもなっているね。
- 篤重は 2025 年の () ドラマの主人公。
- () は日本人が好きな小魚。漢字で「鰯」と書くよ。
- 虹の色は ()。最初の 2 文字は数字だよ。
- () は、いまのボールのようなもの。昔の人はこれで遊んだよ。
- 出版する本や浮世絵には、版元の () が押された。

タテのカギ

- 夏には () を着て、隅田川の花火を見に行こう。
- () のたまごをごはんにかける「たまごかけごはん」が人気。
- 篤重が苦しんだのは、将軍・徳川 () の時代。
- () 源内は、エレキテルをつくったよ。
- () ・に・ほ・へ・と。最初の 3 文字は?
- 隅田川は、むかしは () とよばれていたよ。ヒントは 11 ページ。
- オスのアフリカゾウの重さは、7 () になることも。重さの単位が入るよ。
- () は、あずきとおもちが入った甘い食べ物だよ。

A ~ D をつなげると、どんな言葉になるかな?



江戸切子

「切子」とは、彫ったり切りこみを入れたりして文様をほどこしたガラス製品のことで。庶民にかかわりの深い文様がほどこされているのが特徴です。現代的なデザインの製品も増えています。



江戸押絵羽子板

「押絵」とは、厚紙に布をはったり綿を布でくるんだりして、立体的な絵をつくる方法です。押絵をほどこした羽子板は、毎年 12 月に浅草寺で開かれる羽子板市などでも買うことができます。

何百年も伝統が受け継がれているなんて、すごいな!



江戸手描提灯

江戸の下町では、時代劇などでよく見かける筒形の提灯がつけられていました。「江戸文字」というユニークな形の文字が書かれているのが特徴です。使わないときは、おりたたむことができます。

見学してみよう!
台東区手作り工房マップ



東京くみひも

「くみひも」とは、細いひもを組み合わせてできる丈夫な太いひものことです。よろいかぶとや刀のかざりとしても使われていたため、江戸時代に、武士の町・江戸で生産がさかんになりました。

伝統工芸品を近くで見よう



江戸たいとう伝統工芸館
所在地: 台東区浅草 2-22-13 (浅草ひさご通り)
電話: 03-3842-1990
開館時間: 午前 10 時~午後 6 時
定休日: 毎月第 2・第 4 火曜日 (祝日の場合は翌日)
交通: つくばエクスプレス線 浅草駅から徒歩 5 分 ほか

約 50 業種・250 点以上の伝統工芸品を展示しています。

江戸の職人の匠の技が実感できるよ!



台東区の地名が読み取れるよ！

判じ絵に挑戦！



ヒント

① なにかが、舞をおどっているよ



ヒント

② がた肩でまわっているのは、なに？



ヒント

③ 右の人は、なんて言っているかな？



ヒント

④ この黒い鳥は、不忍池でもよく見かける



国立国会図書館「錦絵でたのしむ江戸の名所」

「つたいやん」のプロフィール

名前の由来：「蔦屋」と「台東区」と「伝える」を合わせた名前

年齢：22才 性格：明るくおしゃべり 趣味：歴史や文化を伝えること

好きなもの：甘いもの（とくに和菓子）

ひとこと：魔法のアイテム・空飛ぶ黄表紙に乗って、台東区の歴史・文化の魅力をみんなにつたえるよ

クイズの答え合わせ

- ◆3ページ 1番 (2番は西村屋、3番は上州屋) ◆4ページ 3番
- ◆5ページ 歌麿：2番 写楽：1番 ◆13ページ 1番
- ◆19ページのクロスワードパズル 答え：たいとう (台東)
- ◆判じ絵 ①：蔵前 ②：駒形 ③：浅草 ④：上野

ゆ	う	ひ	お	と
か		ら	い	おん
た	い	が	か	
	え		い	わし
な	な	い	ろ	る
ま	り		は	んこ

なまえ：